



著者プロフィール

権未知子(かい・みちこ)

1960年、北海道生まれ。「群青」共同代表、「銀化」同人。公益社団法人俳人協会理事。公益社団法人日本文藝家協会・国際俳句交流協会各会員。

句集に『貴族』（第二回中新田俳句大賞受賞）・『蒙古』、句文集に『権未知子集』、著書に『季語の底力』（第18回俳人協会評論新人賞受賞）『食の一句』『言葉の歳事記』『季語、いただきます』、共著に『第一句集を語る』などがある。

〈句集『カムイ』より転載〉〈2017年月日時点〉

『カムイ』（自選15句）

権未知子

南風吹くカレーライスに海と陸
簡単な体・簡単な服の中
一瞬にしてみな遺品雲の峰
さまよへる湖に似てビヤホール
帰心とは水引草にかがむこと
いちじくの火口を覗く夜なりけり
風呂敷は布に還りて一葉忌
海流のぶつかる匂ひ帰り花
しばれると皆言ひ交す夜空かな
大空に根を張るつららだと思へ
地吹雪や蝦夷はからくれなるの島
子は母を選べず雪の中に待つ
探梅やかばんを持たぬ者同士
雪しろは月光の音立てにけり
みづらみはどこへも行かず西行忌